

# 「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 10 日

仕事の内容	狭山公民館事業(施設管理)					
担当部署・課長名	中央公民館	課	狭山公民館	係	課長名	佐伯 芳幸

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。		施策番号	1 - 2	-
【施策名】生涯学習の充実		総合計画書 (ページ)	35	

予算名	款	10	教育費	項	4	社会教育費	目	2	公民館費	事業	3	狭山公民館事業
-----	---	----	-----	---	---	-------	---	---	------	----	---	---------

1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)
	狭山公民館利用者 →	狭山公民館利用者数 (集計表あり)
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)
	利用者が安全に利用できるようにする →	公民館の利用率 (集計表あり)
	③ そのために何をしましたか。	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)
	①施設内外の点検・確認 ②業者に点検委託している ③工事修繕 →	①開館日数 (集計あり) ②委託件数 (予算書等参考) ③施設工事修繕件数 (実績より)

2 指標の推移		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標
	対象指標	①の数値	人	17,822	15,191	16,472	
	成果指標	②の数値	%	47	43	47	
	目 標	②の目標値					
		目標値設定の考え方					
	活動指標	③の数値	①日 ②件 ③件	①304 ②12 ③5	①304 ②9 ③5	①305 ②9 ③5	

3 経費	事業費(実績)	円					※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	円	経費は、各館事業費に含まれる				
	一般財源	円					
	特定財源	円					
	(うち受益者負担)	円					
	人件費(目安)	人					
所要人数(再任用以外)	人						
所要人数(再任用)	人						
職員人件費(再任用以外)	円						
職員人件費(再任用)	円						
事業費+人件費	円				0		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。
	昭和51年7月、市内3番目の公民館として開館。市民の生涯学習の充実を目的としている。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。
	平成24年度に耐震診断調査を委託し、建物面での耐震は問題がなかったが外壁面において指摘があり、平成27年度に外壁調査委託を実施した。

仕 事 の 内 容	狭山公民館事業(施設管理)			
担当部署・課長名	中央公民館	課	狭山公民館	係 課長名 佐伯 芳幸

5 市民等 の 意見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について		
	狭山公民館のリニューアル化（壁、階段は、おぼけ屋敷のように古く、危ない）		

6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）		
	取り組みは無い	取組手法	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）
	(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点		

7 課 題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題(2)」の内容		
	施設の老朽化などのため、修繕が必要な箇所が毎年のように発生している。		
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。 和室の障子・襖修繕、網戸修繕、水漏れ、コンセント修繕等		
(3)(2)を踏まえた今後の課題			
施設備品等も経年劣化し、修繕や買い替えなども費用がかかるが、故障箇所などは早急に対処する。			

8 今 後 の 方 向 性	(1)仕事の方向性（「7 課題(3)」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など） 外壁改修工事・屋上防水工事が実施計画に掲載された（H32実施予定）。今後も施設整備に関しては、計画的に予算要求して改善できるよう努力していく。		
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 施設整備については日々の施設管理を適正に行い、必要な予算が確保ができるように予算の要求を進めていく。		
	(3)改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。		
	成果	成果を向上させる。	経費